

令和4年度[丹後織物業の景況・動向調査] 報告書

[令和5年3月 公益財団法人 京都産業 21 北部支援センター]

(公財)京都産業21北部支援センターでは、丹後地域の織物業の景況・動向を把握し、関係機関等の支援施策等の参考としていただくため、アンケート調査と聞き取り調査を実施しました。

なお、聞き取り調査は、西陣織産地関係者及び京都室町地域の流通関連事業者を加えて実施しました。

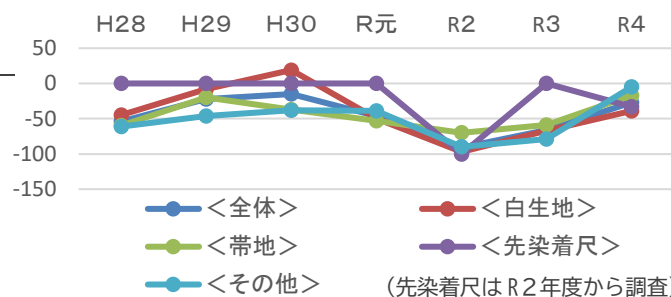
- 調査対象 丹後地域内の織物事業者（委託業者） 148事業者
- 調査時期 令和5年1～3月（前回調査時期：令和3年10月～11月）
- 調査方法 ○アンケート調査（回答者72事業者 回答率49%）
○聞き取り調査（電話・対面）丹後織物事業者 西陣織産地関係者 京都室町地区関連業者
- 回答数 ○所在地別 京丹後市37(51%)・与謝野町33(46%)・無回答2(3%)
○主たる生産品別 白生地33(46%)・帯地17(24%)・先染着尺3(4%)
・服地3(4%)・インテリア地2(3%)・その他14(19%)

■景況について

- ・令和4年の丹後織物生産量は21.3万反/前年比107%、丹後ちりめん生産量は15.9万反/前年比105%の微増となり、近年の和装需要の減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響のため引き続き厳しい状況となった。（生産数量は丹後織物工業組合データから引用）
- ・現在の景況感の指標DI値は-27で、前回（令和3年10～11月調査）の-66に比べ39ポイント改善、また前々回（令和3年2月～3月）のDI値-91に比べ64ポイント改善となり、改善の兆しが見られるものの依然として厳しい状況は続いている。
- ・今後の見通しについては、DI値は-21となり、前回の-45に比べ24ポイント改善したものの、「やや悪い」「悪い」の回答が43%（前回64%、前々回93%）となり先行きの不安感は続いている。

■景況指数 DI 値の推移：右グラフのとおり

DI 値：「非常に良い」「良い」と回答した企業の割合から「非常に悪い」「悪い」と回答した企業の割合を差し引いた値。



■各項目の概要

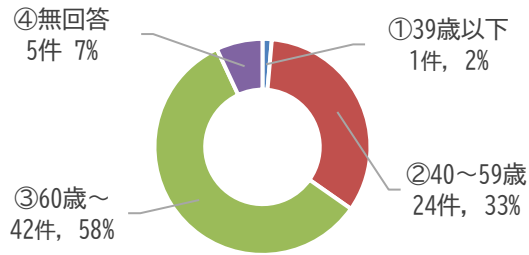
- 現在の採算状況 : 「赤字」が23%で前回の49%に比べ26ポイント、前々回の61%に比べ38ポイント改善となった。
- 生産・受注量 : 「増加」が28%で前回の17%に比べ11ポイントの増加、「減少」が17%で前回に比べ28ポイントの改善となった。
- 今後の受注見通し : 「増加」が21%で前回の17%に比べ4ポイントの増加、「減少」が18%で前回に比べ8ポイントの改善となった。
- 新型コロナの影響 : 「影響がある」を合わせ85%となった。
- コスト増の影響 : 「糸価・材料費」の影響が54件の最多の回答となった。
- 生産に関連する課題 : 人材に関わる課題は「織手」「織機調整」、生産体制に関わる課題は「機器修繕」「織機調整」がそれぞれ多数の回答となった。
- 今後必要な取組み : 「新商品の企画・開発」、「事業所での人材採用」が多数の回答となった。
- 事業承継の予定 : 「予定がある」が21件、35%の回答となった。

■必要な支援について

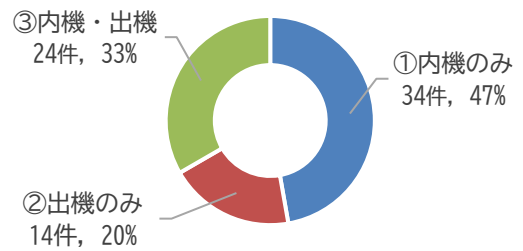
- 人材育成支援 : 「織機調整」が31件の最多の回答となった。
- 技術に関わる支援 : 「製織トラブルの原因究明」が19件の最多の回答となった。
- 補助金などの支援 : 「設備更新・修繕」が31件の最多の回答となった。

I 事業者の概要

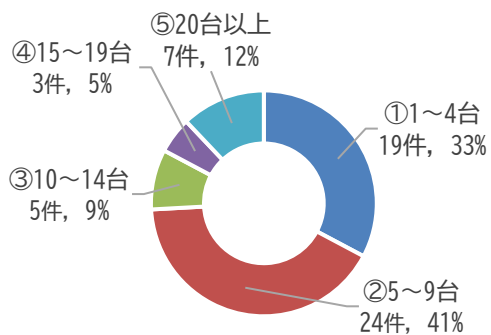
■ 代表者の年齢 ■



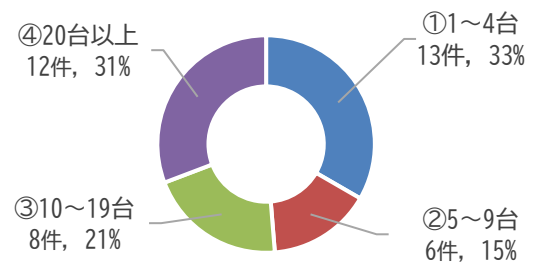
■ 事業規模1 内機と外機 ■



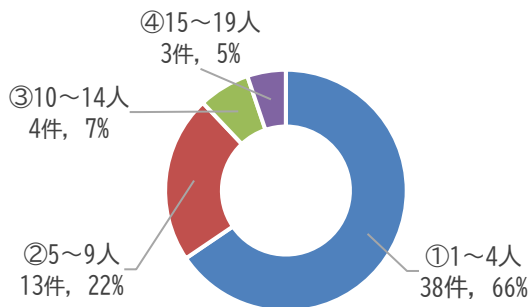
■ 事業規模2 内機の織機台数 ■



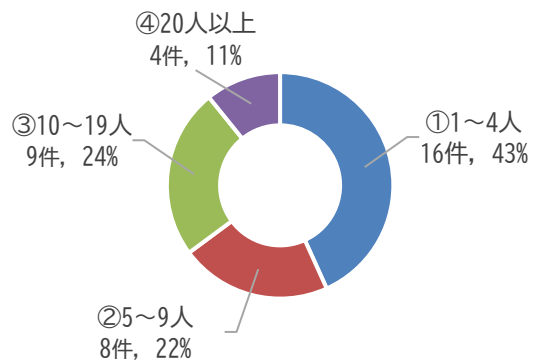
■ 事業規模3 出機の織機台数 ■



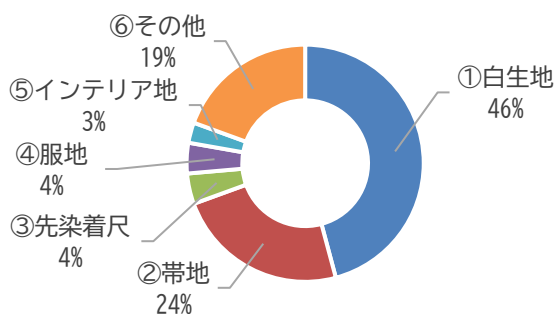
■ 事業規模4 内機の従事者数 ■



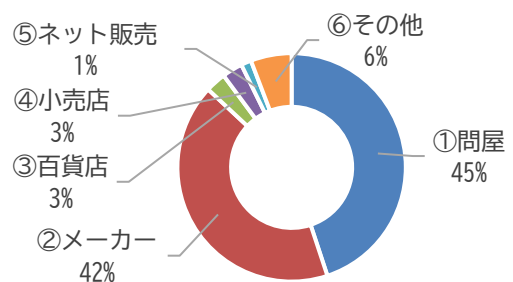
■ 事業規模5 出機の従事者数 ■



■ 生産品目と生産量の割合 ■



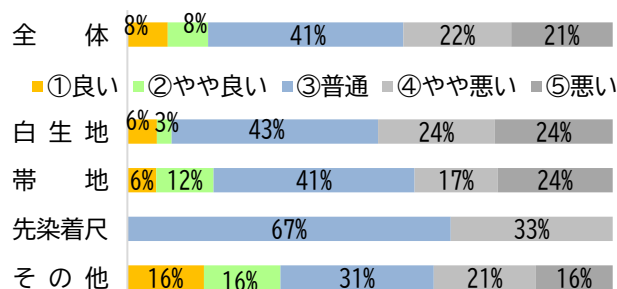
■ 取引先と売上の割合 ■



Ⅱ 景況全般について

※D I 値 = 「良い」「やや良い」と回答した企業の割合から「やや悪い」「悪い」と回答した企業の割合を差し引いた値

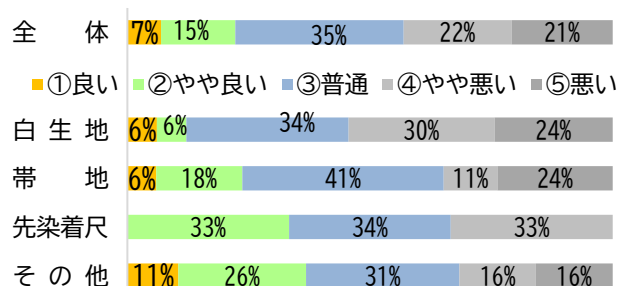
1 現在の景況感



●全体：
今回のD I 値は-27で前回の-66に比べ39ポイント改善となった。

●生産品目別：
D I 値は、白生地-39（前回比28ポイント改善）、帯地-23（前回比35ポイント改善）、先染着尺-33（前回比33ポイント悪化）、その他(和装小物、服地、インテリア地、ネクタイ地等)は-5（前回比74ポイント改善）となった。

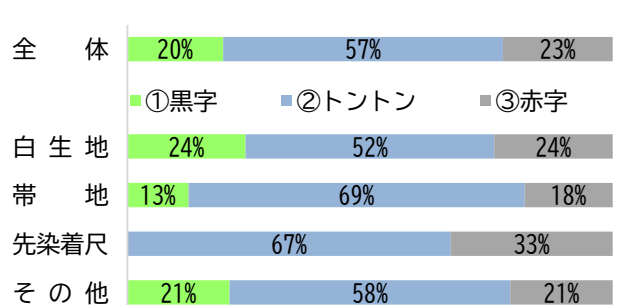
2 今後の見通し



●全体：
今後の見通しのD I 値は-21となり、前回の-45に比べ、24ポイント改善の見通しとなっている。

●生産品目別：
D I 値は、白生地-42、帯地-11、先染着尺±0、その他+5の見通しとなった。

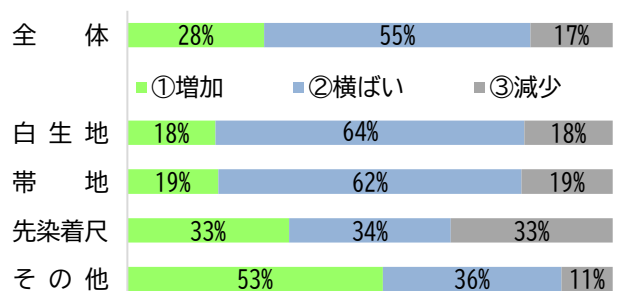
3 現在の採算状況



●全体：
「黒字」が20%（前回比5ポイント改善）、「赤字」は23%（前回比26ポイント改善）となり、赤字が黒字を上回り、引き続き厳しい状況となった。

●生産品目別：
「黒字」の比率は、白生地24%（前回比8ポイント増加）、帯地13%（前回比6ポイント改善）、その他21%（前回比5ポイント増加）となった。
「赤字」の比率は、先染着尺33%（前回比33ポイント悪化）となった。

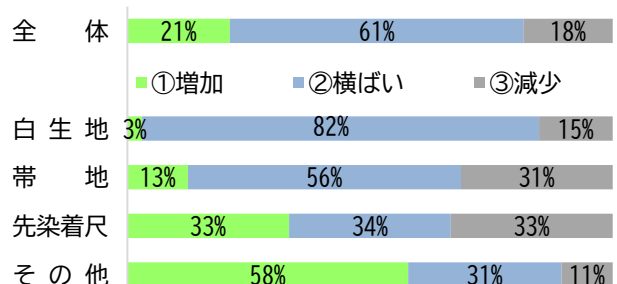
4 現在の生産・受注量



●全体：
「増加」が28%で前回の17%に比べ11ポイントの増加、「減少」が17%で前回に比べ28ポイントの改善となった。

●生産品目別：
「増加」は、白生地18%（前回比4ポイント悪化）、帯地19%（前回比6ポイント改善）、先染着尺33%（前回比17ポイント悪化）、その他53%（前回比47ポイント改善）となった。

5 今後の生産受注見通し



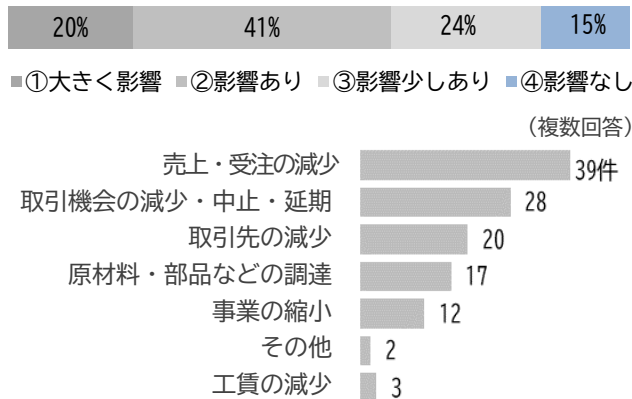
●全体：
「増加」が21%で前回に比べ4ポイントの増加、「減少」が18%で前回に比べ8ポイントの改善となった。

●生産品目別：
「増加」は、白生地は3%と（前回比10ポイント減少）、帯地は13%（前回比7ポイント減少）、先染着尺は33%（前回比17ポイント減少）、その他は58%（前回比36%増加）となった。

Ⅲ 事業を取り巻く状況について

1 新型コロナウイルス感染症の影響

「影響ある」が85%

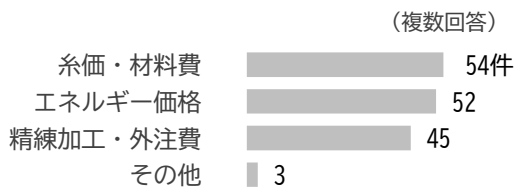


●全体：
「大きく影響」「影響あり」「少し影響あり」を合わせ85%となり、前回に比べ7ポイント減少となった。

●影響の内容：
「売上・受注の減少」「取引機会の減少・中止・延期」「取引先の減少」などの順となった。

2 現在の生産に関わるコスト増の影響

「糸価・材料費」が54件

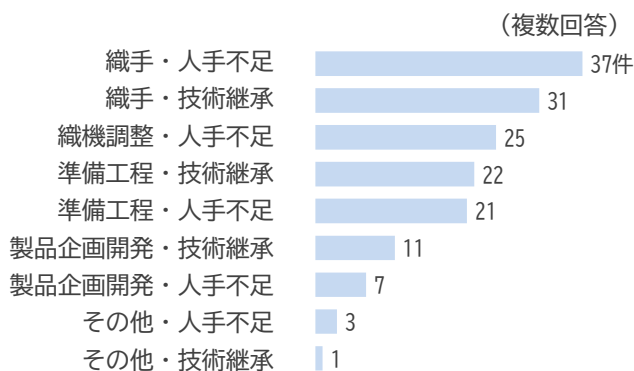


●全体：
「糸価・材料費」「エネルギー価格」「精練加工費」の順となった。

Ⅳ 事業所の状況について

1 (1)生産に関連する課題—人材について—

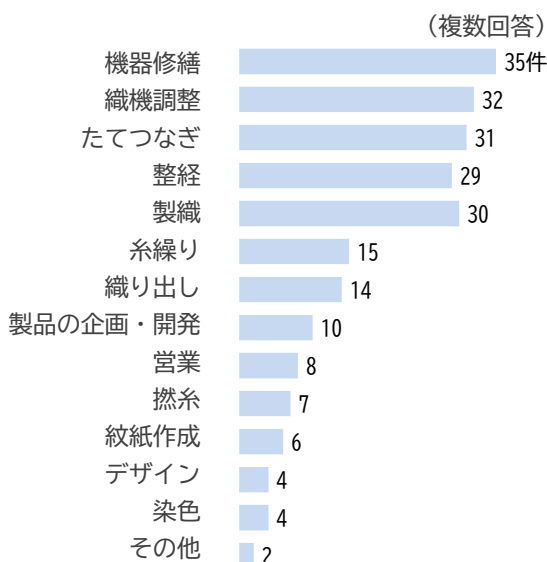
人材に関わる課題は「織手」「織機調整」が多数



●全体：
「織手・人手不足」「織手・技術継承」「織機調整・人手不足」「準備工程・技術継承」「準備工程・人手不足」などの順となった。

1 (2)生産に関連する課題—生産体制について—

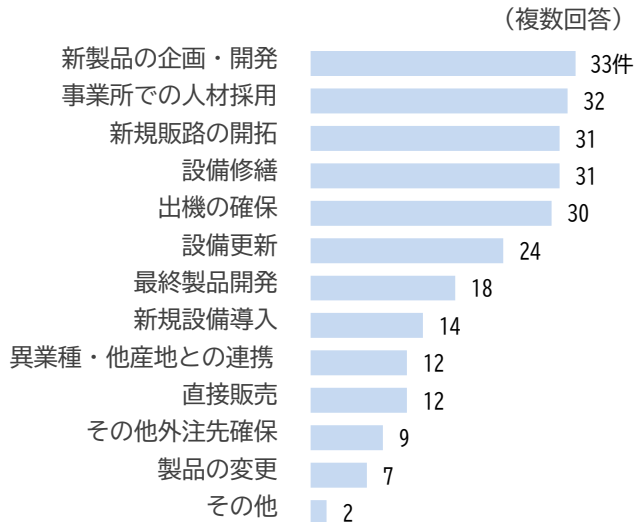
生産体制に関わる課題は「機器修繕」「織機調整」



●全体：
「機器修繕」「織機調整」「たてつなぎ」「整経」「製織」が多数の回答となった。

2 今後必要と考えられる取組み

必要な取組は「新商品の企画・開発」



●全体：
「新商品の企画・開発」「事業所での人材採用」「新規販路の開拓」「設備修繕」「出機の確保」が多数の回答となった。

3 事業承継の予定について

「予定がある」が21件、35%

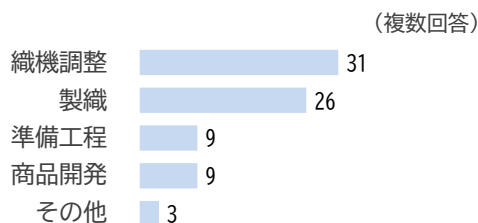


●全体：
「わからない」「予定がある」「予定がない」という順となった。

V 必要な支援について

①研修など人材育成に関わる支援

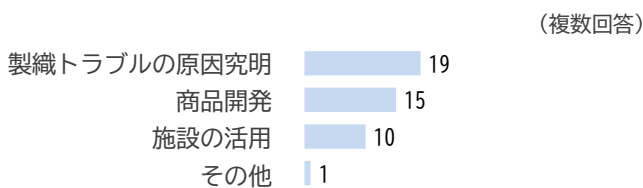
「織機調整」が31件



●全体：
「織機調整」「製織」などの順となった。

②ものづくりなど技術に関わる支援

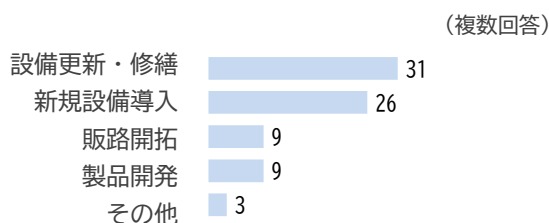
「製織トラブルの原因究明」が19件



●全体：
「製織トラブルの原因究明」「商品開発」「施設の活用」の順となった。

③補助金などの支援

「設備更新・修繕」が31件



●全体：
「設備更新・修繕」「新規設備導入」「販路開拓」などの順となった。

